

令和3年度 国際関係学部 高大連携出張講義 講義テーマ（国際言語文化学科）

教員名	講義テーマ	依頼に際しての注意事項
栗田 和典	食から考えるイギリス史	食べ物そのものはご用意できません。物理的な「出張」でなく、オンライン授業でおこないます。
須田 孝司	英語習得のなぞ	日本語は自然に使えるようになったのに、英語となるとなかなか上達しません。それはなぜでしょう。英語習得の困難さについて考えます。講義にはパワーポイントを使います。月曜と金曜を希望します。
ジョナサン・デイ ハーン (Jonathan deHaan)	Using games to improve language, literacy and thinking skills	Students will work (in English) in groups to play, discuss, and redesign a simple board or card game. In these activities, students will practice and learn English vocabulary, reading, writing, speaking and listening skills. Students will learn about the social and historical context of the game, as well as practice critical thinking and creativity skills. A short debriefing and lecture at the end of the class will help students apply the lessons from the game into daily life. (Technology required: projector and screen. Games and other materials will be brought to the lesson.)
	Transforming lives: The “Game Terakoya” project at the University of Shizuoka	Are you interested in teaching? In games? In changing yourself? In changing society? In this lecture (conducted in simple English), I will introduce the “Game Terakoya” seminar and classes that I teach and research at the University of Shizuoka. The lecture will be a “story” of my journey as a teacher and how I have been trying to help students and society. I will show photos, documents, diagrams and projects. You will see how my students transform themselves and society. The lecture will also include short exercises to help you think about who you are, who you want to become, and how to do that.
寺尾 康	ことばへの気づきと日本語・英語	「ことばを知っていること」と「ことばについて知っていること」は違います。日本語と英語の歌やCM、構文などを題材に、普段何気なく使っていることばの背後にある仕組みやきまりに気づく、という作業を通して、「ことばについて知る」楽しみを感じてもらえたらと思います。

<p>リダン ポール アラン (Paul Alan Lyddon)</p>	<p>What It Means to Know English and Why It Matters</p>	<p>This lesson will cover three main themes: 1) historical factors in the global spread of English, 2) characteristic differences between major varieties of English, and 3) implications for learning and using English for global communication. (Required technology: projector and screen.)</p>
<p>澤田 敬人</p>	<p>オーストラリアへ渡った日本人</p>	<p>多文化社会におけるジャパニーズを知り、人の国際移動という視点を紹介します。パワーポイントを使用します。</p>
<p>米山 優子</p>	<p>現代イギリス社会の諸相</p>	<p>ニュース映像を通して、現代のイギリスでどのような社会問題が起こり、それに対して人々がどのような反応を示しているのか考察します。DVDプレーヤー、パソコン、プロジェクターを使用します。</p>
<p>長野 明子</p>	<p>言語の形態学</p>	<p>形態学 (morphology) とは「形を扱う学問」一般のことをいい、生物学であれば、植物や動物の形について研究します。誰しも、地球上には、日本では見られないような姿形をした動植物がいることに驚いたことがあるでしょう。ひとびとは衣装 (ファッション) や舞踏 (ダンス) にも形状やパターン of 形態学があり、異文化間で比較することが可能です。言語学でも、形態論の形について研究します。この講義では、単語の形を通して、地球上の言語の多様性と法則性について学びます。講義にはパワーポイントと黒板・ホワイトボードを使います。受講生は紙と鉛筆 (ペン) を用意してください。出講は、後期の木・金・土曜日を希望します。</p>
	<p>樹形図を書こう</p>	<p>言語学には、2つの木 (tree) があります。1つは、言語を歴史的にとらえる場合の系統樹、もう1つは、言語を構造的にとらえる場合の樹形図 (木構造) です。この講義では、系統樹について学んだあと、樹形図を自分たちで実際に書いてみます。系統樹には (おそらく) ない「主要部」や「C統御」について学びます。講義にはパワーポイントと黒板・ホワイトボードを使います。受講生は紙と鉛筆 (ペン) を用意してください。出講は、後期の木・金・土曜日を希望します。</p>

田村 敏広	言語コミュニケーションの仕組み	日常の言語コミュニケーションにおいて、私たちは文字通りの意味だけではなく、「見えない意味」もやりとりしています。講義では、「見えない意味」とはどのようなものなのか、また、なぜそのような意味のやりとりが可能になるのかを考えます。これらの問いを考えることで、言語コミュニケーションの背後にある人間の認知能力が見えてきます。講義ではパワーポイントを使用します。
鈴木さやか	芭蕉さんのあたらしさ	芭蕉さんの有名な「あの一句」について、どの点が従来の俳諧と異なっていたのかをお話しします。講義中、グループでの話し合いや指名による発言などを行っていただきますので、積極的に参加してください。生徒さんが望ましいです。パワーポイントを使用するため、プロジェクターとスクリーンの準備をお願いいたします。なお、前後期講義中は火・木曜は出講できません。
	絵本で親しむ能「羽衣」	日本が世界に誇る古典芸能「能」。今回は、静岡・三保の松原が舞台となっている能「羽衣」および講師が行っている羽衣普及活動について、県大で作成した絵本を用いてご紹介します。講義中、グループでの話し合いや指名による発言などを行っていただきますので、積極的に参加してください。生徒さんが望ましいです。パワーポイントを使用するため、プロジェクターとスクリーンの準備をお願いいたします。なお、前後期講義中は火・木曜は出講できません
細川 光洋	小泉八雲—文学としての怪異	焼津ゆかりの文学者小泉八雲(Lafcadio Hearn)の作品をもとに、文学的想像力と「怪異」についてお話しします。作品としては、「焼津にて」「雪おんな」などを取り上げます。講義ではパワーポイントを使用しますが、レジュメで八雲の原文(英文)の一部を配布。これをもとにオリジナルな訳文づくりにも挑戦していただく予定です。八雲の『怪談』が、昔話ではなくなぜ近代文学なのか、講義を通して考えていただけたらと思います。 水曜日(前期)、木曜日(前後期)を希望します。

水野 かほる	日本語の特徴 ―日本語を外国語として見たら―	日本語と外国語（主に英語）との比較や日本語の学習者の視点から日本語を見ることによって、普段私たちが使っている日本語の特徴を考えてみましょう。ことばと文化、日本語教育に関心のある人対象。木曜は出講できません。
	言葉の壁とコミュニティ通訳	国際化の進展と共に日本を訪問したり日本で暮らす外国人が増加し、それに伴って司法、医療、教育、その他の様々な場面で言葉の問題が浮上しました。そこで言葉の橋渡しをする人たちを「コミュニティ通訳」と言います。講義では、コミュニティ通訳の役割と仕事の特徴、現状などについてお話しします。木曜日は出講できません。
竹部 歩美	源氏物語の世界に触れる	国宝『源氏物語絵巻』の絵と詞書を見ながら、1000年前の日本語と日本文学を考えます。絵の見方を説明した後、それに対応する詞書（くずし字のもの）を見ながら語彙や語法の解説を行います。※水曜日は出講できません。木曜日が第一希望です。
澤崎 宏一	日本語学入門	大学で学ぶ日本語学という分野の中から、いくつかトピックを選んで、そのさわりを紹介します。ことばに興味のある方対象です。（火曜・水曜は困難。）
	アメリカの日本語教育のひろがり	アメリカではどのような人たちが日本語を大学や高校で学ぶのかについて、その歴史や現在の事情を考えながら話をします。（火曜・水曜は困難。）
平山 洋	福沢諭吉先生に聞く、「大学に行くとどんないいことがあるの？」	福沢先生の考えとからめて、現代の大学についての話をします。
吉田 真樹	日本における神と仏	前もって生徒が何を知りたいのか調査・報告していただき、それに応える形で授業を行います。月曜日を希望します。
木澤 景	「かんがえる」を考える ―日本人の思考法	古典テキスト（主に古文）を読みながら、かつての日本人がどのようにもの考えたのかを探り、そもそも「かんがえる」とはどういう営みなのかということに参加者それぞれが考えてみます。（月曜か金曜を希望します）

<p>諏訪 一幸</p>	<p>中国の「一帯一路」戦略</p>	<p>習近平政権の世界戦略について、一緒に勉強しましょう。できれば、月曜日或いは金曜日を希望します。パワーポイントを使用するため、プロジェクターとスクリーン（可能であればパソコンも）の準備をお願いします。</p>
<p>小針 進</p>	<p>日本と韓国～「眺め合い」の社会学</p>	<p>原則として月曜、火曜、金曜は出講できない(その他にも出講できない特定日があるので要相談)。パワーポイントを使用するためプロジェクターとスクリーンの準備ができること、熱心に聴いてくださる生徒さんがいればどこへも伺います。</p>
<p>塩崎 悠輝</p>	<p>新型コロナウイルスと東南アジア</p>	<p>2020年、新型コロナウイルスは、東南アジアでも大きな問題になりました。感染拡大の経緯や各国の対応の背景には政治体制や経済、宗教があります。そして、国際的な難民（たとえばロヒンギャ難民）や労働者の移動も重要な要素でした。東南アジア諸国を例に、政治や経済、宗教を理解することで、新型コロナウイルスの社会的影響を理解できるようになる、ということを示します。</p>
<p>堀内 賢志</p>	<p>ロシアの政治・社会と日露関係</p>	<p>ロシアは国際政治のニュースにたびたび登場する日本の隣国ですが、欧米と対立することも多く、不可解な国という印象もあるかもしれません。そうしたロシアの政治・社会を解き明かし、日本との関係を考えます。パワーポイントを使用するため、プロジェクターとスクリーンの準備をお願いします。</p>
<p>奈倉 京子</p>	<p>近くて遠い中国—日本・日本人と何が違うのか？—</p>	<p>日本には多くの中国人留学生、観光客が訪れ、定住する人も増加傾向にある。私たちの中国・中国人理解は中国の経済、社会的発展による変化に追いついているだろうか。中国人・華人の行動原理から考えます。</p>

米野 みちよ	マイノリティの声を届けるユーチューバーたち	<p>「マイノリティ」とは、社会の中で、少数であるだけでなく、政治的、経済的、文化的に、不利な立場にある集団です。あつてはならないことですが、そのために差別を受けてしまうこともあります。国籍、言語、宗教、ジェンダー、経済力、身体的特徴、障がい、年齢、など、様々な要素で、人々が区別されることがあり、そのうち少数の弱者をマイノリティと考えることができます。また一人の人が、あるカテゴリーではマジョリティ（多数者）に属しても、別のカテゴリーではマイノリティに属す、ということもあります。20世紀まで、マイノリティの人々の声は社会全体には伝わりにくかったのですが、21世紀になって、インターネット、特にSNSの普及によって、限定的ながら、彼らの声が伝えられ易くなりました。本講義では、マイノリティの声を届けるユーチューバーたちを紹介します。様々なマイノリティの声に耳を傾け、また、新しいメディアの役割について考えてみましょう。</p> <p>(パワーポイントを使用するためプロジェクターとスクリーンの準備ができること。できればスピーカーもあると有難い。小型のものであれば、当方でも持参可能)</p>
小谷 民菜	二つの『オランダ人』とアハスヴェール	ワーグナー（ヴァーグナー）のオペラとその原作、さらにその背後にあるヨーロッパ中世以来の伝説について見ていきます。パワーポイント使用。
橋川 裕之	民主主義を古代から考える	現代世界に広まっている政治制度は民主主義（デモクラシー）と呼ばれます。よく知られているように、民主主義は古代ギリシャで誕生したものです。ギリシャの民主主義はどのように始まり、どのように終わったのか、現代の民主主義とどんな点で異なるのかを解説します。50～60分程度。DVD・スクリーンも使用します。対面方式。大学授業期間中は水曜と金曜が第一希望です。
	イタリア・ルネサンス——フィレンツェで何が起こったのか？	世界史的にも名高い「ルネサンス」は14世紀から15世紀にかけて、イタリアの都市フィレンツェで始まったとされます。なぜこの時期のフィレンツェで？そもそもルネサンスとは？ヴィジュアル資料を用いて解説します。50～60分程度。PC・スクリーンも使用します。対面方式。大学授業期間中は水曜と金曜が第一希望です。
園田明人	高校生のための心理学入門：心理学の基礎と、無気力・落ちこみ・適応の心理	パソコンの画面をスクリーンに出力しますので、プロジェクター、スクリーンの準備をお願いします。

橋本勝	学力格差は、”絆”の格差？社会的なつながりの中で「学力」を考える。	パワーポイントを使用して授業を進めますので、プロジェクターをご用意ください。 概要：「学力」を児童や生徒のきわめて「個人的な事柄」と考えることを一旦停止し、「社会的な事柄」と捉えてみましょう。そして、学力の格差や教育の格差などの社会問題や、その対策について考えてみましょう。
剣持 久木	歴史博物館で学ぶ現代史	戦後75年が過ぎ戦争体験者がいなくなる中で、歴史を伝える手段として注目されるのが、歴史/戦争博物館です。世界各地の博物館の様子を紹介して、現代史をどう伝えていけばいいのかを考えます。パワーポイントでの講義です。
森 直香	文学とアダプテーション	人気のある小説やマンガの映像化、以前流行した楽曲のカバーバージョン、テーマパークのアトラクションなど、アダプテーションは私たちの身近にある現象です。出張講義では、この現象を学術的な視点からとらえ、アダプテーションとは何か、そして、ある作品がアダプテーションされる時どんなことが起こるのかを音楽やCMなどから考察します。DVD、パワーポイント使用。授業期間は火曜・水曜日は出講できません。
ファイファー, M. (Matthias Pfeifer)	映画にみられるドイツ分断と再統一	パソコンの画面と音声を出力して使用しますので、プロジェクター（HDMIインタフェイス）、スクリーン、スピーカーの準備をお願いします。後期のみで木曜日の午前中または第一・第五火曜日の午後（後期）を希望します。
松森 奈津子	異人歓待と羽衣伝説—ホスピタリティの系譜学における静岡	よく知られた昔話を題材に、ホスピタリティ論を中心とする他者認識を考察します。7～9月は海外出張（アメリカ、ヨーロッパ）を予定している関係で、時差の折り合いがつく場合に限り、Zoom講義で対応します。それ以外の時期も、新型コロナウイルス感染状況によっては、遠隔講義を希望します。パワーポイントを使用し、受講者参加型の講義となります。
浅間 哲平	フランス文学の描く旅	命をかけて旅をする。かつて、そのような時代がありました。しかし、いつからか人間は旅を娯楽とするようになります。フランス語に「ツーリズム」の語が現れた19世紀、「旅」はどのようなであったのか、文学作品を通してみていきます。金曜日を希望します。遠隔講義可。